

②野田堤・烽火山
16世紀後半に野田新左衛門の発案により雨水を貯めて築造された人工のため池です。また、横にそびえる標高約90mの烽火山の頂上には、平安時代に太宰府に外敵等の情報を伝達する手段としてのろし釜が整備されました。

③幻の野向の一本松
野向地区の高台には、以前大きな古い松があり、地域の人は「野向の一本松」と親しみをこめて呼んでいました。詩人である野口雨情はこの地を訪れ、「野向一本松 根株はここに 枝は栄えて天草へ」という詩を作ったほど絶景の場所でした。しかし、終戦後松喰い虫の被害で枯れてしまったため、現在は松の代わりに桜が植えられています。天草の島々まで見渡すことができる景勝地です。

①口之津港
深い入江と水深があり、周りが高い山で囲まれている天然の良港であったため、450年前に南蛮船が来航し、南蛮貿易とキリシタン布教の拠点となった港です。

⑦口之津歴史民俗資料館
明治32年に長崎税関口之津支庁として建てられた洋風建物です。現在は、昭和55年に払い下げを受け、室内を改修し、貴重な生活用品など多くの歴史的遺産を展示しています。館長の案内は一聴の価値あり。

せづめざき
④瀬詰崎灯台

④瀬詰崎灯台
早崎瀬戸は、有明海の入口に位置することから全国的にも潮流がはやいところで有名です。そのため、半島に先端にある灯台は、船の安全航行を見守るために昭和41年に点灯しました。潮流によって発生する渦潮は、海の雄大さを感じることができます。

⑤アコウ群落
南方系のクワ科「あこう」が20本ほど群生しています。幹回りが太く、高さ20mに達するものもあり、樹齢は300年を超える巨木もあります。海流が種子を運び、自然に根付いたもののほか、防風林や防潮林として植えられました。

のむき
③幻の野向の一本松

のろしやま
②野田堤・烽火山

スタート
①口之津港

フィニッシュ
⑦口之津歴史民俗資料館

⑥口之津灯台

⑥口之津灯台
口之津港に出入りする船の安全航行を見守る灯台(六等白色)として明治13年に点灯しました。

国道251号線



500 m